



発行日/2023年2月24日

編集・発行/堺市立健康福祉プラザ

視覚・聴覚障害者センター

聴覚障害者情報提供施設

〒590-0808 堺区旭ヶ丘中町4-3-1

Tel:072-275-5024 Fax:072-243-2222

Mail:mimi@sakai-kfp.info

みみより

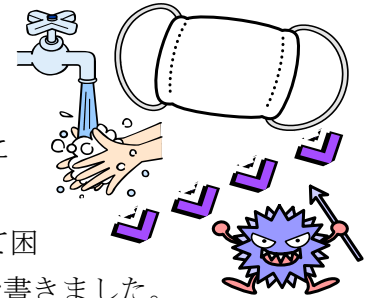
65

ごあいさつ

宮本 幸

1年で一番寒い月です。値上がりした光熱費の金額を見て悲鳴を上げました。みなさまはいかがお過ごしでしょうか。

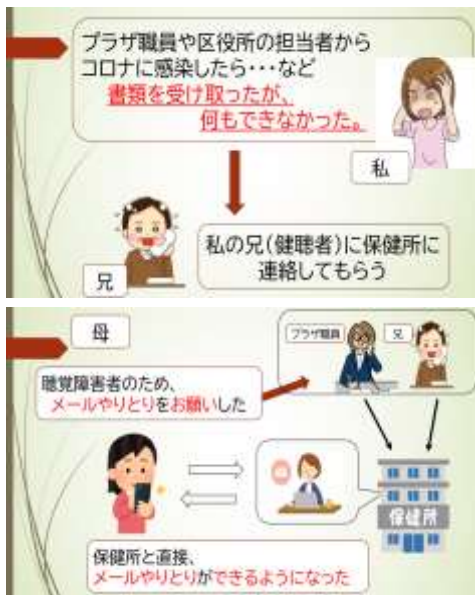
2020年のこの時期、日本でもコロナが蔓延し始めて、マスク生活が始まりました。そこから新型コロナウイルス、緊急事態宣言、濃厚接触者、など、普段使わない単語が矢継早に出て来ました。また、マスクが品薄になり、手作りでマスクやフェイスシールドを作ったことが思い出されます。マスク生活により、きこえない方々が出先で相手の口元が見えなくて困らないか?と思案し、1日でも早く終息を迎えるよう願うことをこの欄で書きました。



あれから3年。3年も経つと、マスク生活が当たり前になっていましたが、政府はマスク着用ルールの緩和を検討しているようです。屋内外を問わず、着用するかどうかは個人の判断に委ねるよう緩和する一方で、通勤ラッシュ時など混雑した電車やバスを利用する際には着用を推奨する、と報道がありました。「やっとここまで来たか」という思いと「マスク無しでの生活、大丈夫かな?」という思いとが入り混じり、ちょっと複雑です。

開催事業報告

《みみサロン》



1月23日(土)の午後2時より「みみサロン」をオンライン・会場の併用(ハイブリット)で開催しました。世界的に社会問題となった新型コロナウイルス感染拡大がなかなかおさまらない状況のなかで「自分がかかったらどうしよう!」、「かかった場合の連絡先や情報保障の獲得方法は?」など、不安を抱える方が多かったことでしょう。そこで、今回は「新型コロナウイルス感染を通じて」をテーマに、実際に濃厚接触者となった聴覚障害者である母親と感染経験者の息子に、親子で体験を語っていただきました。

コロナの影響で、専門学校の卒業式、就職先の入社式が急遽、中止になったことから話がスタート。聴覚障害者の息子は、看護助手として、患者のたん吸引時の咳が原因でコロナ感染してしまいました。当時はまだ「コロナ」がよくわからない病気だったため、母親はパニック状態になってしまいました。自分も感染すると思い、「もうこれで終わった。死ぬんだ!」と、兄(聴者)に「親のこと、よろしく

お願いします」とメールで伝えます。「知らなかった」と話す息子、「何もできなかった」、「これで終わった」と話す母親の気持ちを、参加者はどのように感じたのでしょうか。

そのあとプラザ職員や聞こえるお兄さんの支えもあり、保健所と直接メールやりとりができるように。その際の喜びと心のどこかに安堵した感じが伝わってきました。息子は20日間の自宅待機(生活状況)の

腰痛・肋骨激痛、高熱、味覚障害、体重減少、落ち着いた時の状況などを話されました。飼っている猫の糞(ふん)の匂いもわからないほどの嗅覚・味覚障害だったという話しが印象に残りました。看護助手として、知り得た情報を活かし、今後コロナ感染した場合の方法(発生届など)や配食、濃厚接触者の待機期間などの条件が変わっていることなども話していただきました。今後も日々状況が変化するので、常に最新の情報を得ることが大事だなと感じたサロンでした。

《聞こえない&聞こえにくい子どもの保護者向け学習会》

1月28日(土)に「もっと話したい～きこえる家族で育ったきこえない私～」というテーマで開催しました。講師の川崎 泰子さんは、ろう学校の幼稚部を修了後、小学校・中学校は地域の学校へ。高等部からはろう学校に戻り、大学で福祉を学んだあと、福祉の仕事や聞こえない子どもたちの支援をしてこられた方です。そんな川崎さんに、「子どもの時は説明できなかつたもやもや」を語っていただきました。



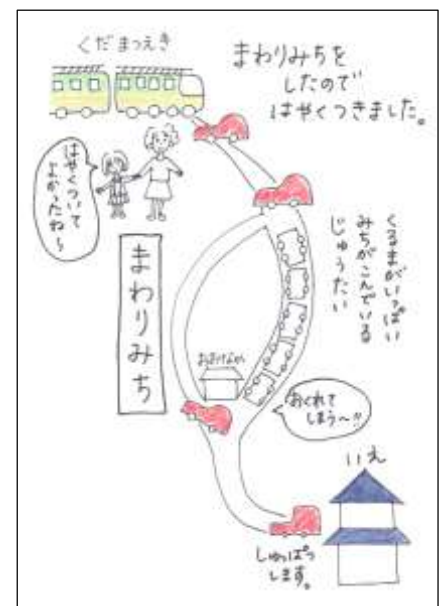
幼少期には、お母さんから「ことばのシャワー」を受けます。例えば、車でお出かけをした際に渋滞に巻き込まれてしまった川崎家。ここでお母さんは路肩に車を止め、絵を描きます。そして、「車がいっぱい」、「道が混んでいる」、「渋滞している」という3つの言い方があることや、「まわり道」の意味を教えてくださいました。体験をベースにすることで「ききたがり」に育った川崎さんは、たくさんのことばを吸収していきました。

けれども、地域の学校ではスタートからつまづいてしまいます。先生の自己紹介の後、「先生の名前がわかった人！」の問いに勢いよく手を挙げた川崎さん。けれども、自分が読み取った口形は間違っており、クラスみんなに笑われてしまいます。「わかった？」と問われて「もう一回」とも言えなくなり、「あきらめたほうがいい」、「わからなくていい」という気持ちになっていきます。

中学生になると、友人関係も厳しくなっていました。仲良くなった友達同士はあだ名で呼び合うようになりますが、川崎さんには名札に書いてある名前しかわかりません。「〇〇さん」、「□□くん」としか呼べないことで、次第にいじめに遭うようになります。また、家族とのコミュニケーションも1対1以外ではうまくいかず、孤独を感じるようになります。学校にも家にも居場所がなく、とてもしんどい日々だったそうです。「自分のことを知っている人がいないところに行きたい！」と選んだろう学校高等部。初めは「ことばに気持ちがない」と言われたりもしましたが、手話ということばに出会い、いきいきと対話ができるようになったことで、また「きこえる人と一緒に大学で学ぶ」という選択をすることができました。

大学では「ろう学生懇談会」に入り、きこえない仲間と一緒に語り合います。子どもの頃の「もやもや」は自分だけが感じていたものではないと知り、感情が大きく揺さぶられ、それを家族にぶつけてしまったこともあったとか。それでも、話をすることで「しんどい」と感じていたのは自分だけではなかったことにも気づいたそうです。口話に頼った会話だったために深い話ができず、すれ違ってしまった。もっと気持ちを会話にできればよかった。だから、今も「もっと話したい」と語っていただきました。

親もきょうだいも、一生懸命考えて、時には我慢もして、毎日を過ごしています。それでも起こってしまう「きこえない子の孤独」。子どもたちは自分の抱えている気持ちをうまく表現することができません。ご自身の体験とその時々「もやもや」を整理して伝えてくださった川崎さんのことばは、私たちの心にピンピン響きました。子どもたちがどう感じているのかに周囲が気づくことで、対話の機会は広がります。そして、口話・筆談・手話、たくさんの「ことば」を持つことで対話は深まります。深まった対話は共感を生み、子どもたちの感情と心を豊かに育てます。けれど、それを一人でやっていくのは大変なこと。



保護者学習会で一緒に考えていきませんか。次回は3月4日、「コミュニケーションの力、人とかかわる力を育てる」をテーマに開催します。みなさまのご参加をお待ちしております。

《もじサロン（筆談会）》



寒い時期にも関わらず、1月12日(木)は1名がご参加くださいました。2月16日(木)はお申し込みがなく、中止となりました。

今年度は3月16日(木)が最終回です。午後2時から4時に開催予定です。参加者がおひとりでも開催しますので、どうぞご参加ください。

来年度の予定は、4月にご案内します。聞こえにくいことで「おしゃべり」をあきらめている方、筆談したり、要約筆記(会話を文字で伝えるサポート)を使ったりして、同じ体験をしている方同士で交流しませんか。6月・12月は要約筆記を活用した「わいわいおしゃべり会」、その他の月は筆談会を開催します。たくさんの方のご参加をお待ちしております。

トヨタ車ユーザーの方、ご利用ください

2022年2月から、トヨタ自動車お客様相談センターで手話通訳サービスが利用できるようになっています。車に関することやリコール情報など、トヨタに関する全般のお問い合わせが可能です。

このサービスは、「来店された年配の聞こえない方に筆談で対応したものの、うまく伝えることができなかった」という販売店スタッフの声がきっかけで始まりました。この声を受けて担当部署で調査した際、さまざまな課題に気づかれたそうです。例えば、標準装備されているTコネクトという機能や安全装備については乗車中に案内がありますが、音声案内のみで視覚情報がありません。これでは、聞こえない方々は機能があること自体を知らないままになってしまいます。また、トヨタの工場には聞こえない職員も多くいるので意見を聞いてみたところ、「そもそも、問い合わせや相談をすることをあきらめている」との回答が多かったとのこと。「相談する・問い合わせる」ことに大きなハードルがあることに気づいたそうです。

SDGsの基本理念のひとつに「誰一人取り残さない」という考え方があります。この基本理念の実現に向け、手話通訳サービスはスタートしました。現在はお客様相談センターとレクサスインフォメーションセンターのほか、一部の販売店で利用が可能です。詳細はホームページでご確認ください。

手話通訳サービス紹介ページ

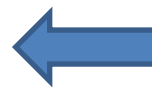
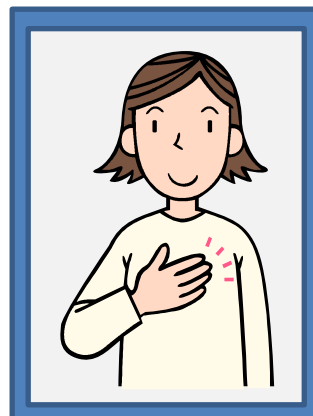
https://faq.toyota.jp/faq/show/7119?site_domain=default



お客様相談センター

手話通訳

レクサスインフォメーションデスク



手話奉仕員・通訳者養成講座

来年度の講座を準備中！

今年度の手話養成講座は修了式を迎えるだけとなりました。また、市民向け講座も残すところ1回です。来年度に向けての募集も始まります。たくさんの方々からのお申し込みを心よりお待ちしております。

要約筆記者養成講座

全員修了 おめでとう！

お仕事・家事・育児など、さまざまな用事をこなしながら、皆さん無事に講座を修了されました。そして、2月19日には統一試験も受験。あとは結果待ちです。たくさんの方の要約筆記者が生まれますように…。

センターの行事

※現在、すべての行事は事前申込制になっています

3月 4日(土) 14:30~16:30

保護者学習会

「コミュニケーションの力、
人とかかわる力を育てる」

3月 10日(金) 13:30~16:30

補聴器相談(おひとり 50分)

3月 16日(木) 14:00~16:00

もじサロン(筆談会)

3月 18日(土) 14:00~16:00

みみサロン

「しんじのなるほどザ・ワールド」

新型コロナウイルスの感染状況により、オンライン開催、または中止になることがあります。

4月15日(土)は「春のプラザまつり」です。視覚・聴覚障害者センターでは、手話での絵本の読み聞かせ・ミニ手話教室・筆談体験などを企画しています。ゲームコーナー、や障害者スポーツ体験もありますので、どうぞお越しください。

ビデオライブラリーのおすすめ

ちびまる子ちゃん

「まる子、青い鳥を探しに行く」の巻

『青い鳥』という本を
読んだまる子。「青い鳥を見つければ
幸せになれる気がする」と言って、山田と
かよちゃんと一緒に青い鳥を探しに行くこと
になります。さて、青い鳥は見つかるのでしょうか。



ちびまる子ちゃん

「まる子、そうめんをおいしく食べたい」の巻

そうめんをおいしく食べるために、つゆにいろいろな
ものを入れて試してみようと、まる子た
ちは具材を持ち寄って試食します。どれ
が一番おいしかったのでしょうか。



頑張っています 手話通訳・要約筆記登録者

実施済

- 登録者合同研修 12/17
- 盲ろう者手引き研修「盲難聴者のくらし」 12/24~
- 手話通訳者研修「コミュニティ通訳者の役割」 2/18

- 盲ろう者手引き研修 3/4 からオンライン配信
 - 登録継続者説明会 3/25
- 変更事項もありますので、できる限りご参加ください。

事業状況

		手話通訳		要約筆記		ライブラリー	
		個人	講演	個人	講演	利用者数	貸出数
12月	派遣数	219件	21件	20件	11件	22人	36本
	派遣人数	225人	46人	24人	42人	新規登録者：2人	
1月	派遣数	156件	26件	14件	12件	8人	32本
	派遣人数	163人	59人	21人	42人	新規登録者：0人	

ご協力
ありがとうございました

